

平成30年度

事業実績報告書

施設名: 母子生活支援施設ブルーインター

事業所名	母子生活支援施設ブルーインター			職名	人数	備考	
施設長・管理者名	施設長 伊藤幸恵			施設長	1名	※内1名は主任母子支援員 ※内1名は事務員 ※2名ともパート	
実施事業	母子生活支援施設			補佐兼母子支援員	1名		
開設年月日	平成15年4月1日			母子支援員	3名		
所在地	鳥取県倉吉市福守町407-14			少年指導員兼事務員	3名		
正規職員数	5名			保育士	1名		
準職員数	0人			心理療法担当職員	1名		
契約職員数	8名(内2名パート)			調理員	1名		
定員	30世帯	実績利用世帯数	13.9世帯/日	達成率	46.3%		
項目	事業計画				事業実績		
1 基本方針	児童福祉法の、「すべての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるように努めなければならない」「すべての児童はひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」の規定にのっとり、唯一母子で入所できる児童福祉施設として、児童の心身共に健全な育成を母と共に目指して、様々な事情で困難な環境に陥っている母子が、生活力と、精神力を取り戻し、自信をもって、力強く地域で自立していけるように思いやりと感謝の心で支援する。						
2 運営方針	一般的・常識的な「日常」が、入所世帯の「日常」とは限らないということを念頭に置き、表面的な見方ではなく、慎重に、隠れた問題を探り、根本的な解決を目指した、思いやりで満ちた関わりを心がけることで、母子が笑顔と喜びに満ちた、本当の意味での自立が出来るよう努める。						
3 主な事業内容	(1)施設整備計画			(1)施設整備実績			
(1)施設整備事業	①1階廊下床改修工事	260千円		①1階廊下床改修工事	257千円		
	②相談室増築及び幼児用トイレ整備工事	8,640千円		②相談室床改修工事	352千円		
				③相談室増築設計委託	1,246千円		
				④特例防火設備ドア修繕工事	234千円		
				⑤ガス漏れ修繕工事	303千円		
				⑥アンテナ修繕工事	249千円		
(2)事業活動	(2)事業活動			(2)事業活動			
	◎母親支援事業			◎母親支援事業			
	・惣菜DAY			・毎月1回×12ヶ月 一食100円で2品を提供し、家事負担を軽減することに繋がった。8割以上の家庭が利用された。			
	・リフレッシュ保育			・毎月第4日曜日10時～16時、年間を通して実施した。母親のリフレッシュの時間を提供し、子育ての負担軽減につながった。また、子ども達の様子を確認することで、虐待防止にもつながった。			
	・お母さんといっしょ			・毎月第1火曜日18時～19時、小学1年生までの子どもが居られる家庭を対象に保育室から、カレーライスを食べながら子育てサロンを実施した。対象家庭はほぼ全家庭が参加した。			
	・あったまろうDAY			・家族の夕食のひと時を、ごちそうを提供することで、心通わせあたたまる時間を設けた。誕生日や高校の合格祝い、また忙しい日に利用される家庭が多かった。子どもと職員が盛り付けをして、居家で家族写真を撮影し思い出の1枚とし母子関係構築の一助となった。			

	<p>◎児童支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育 ・セカンドステップ ・麺や大地 ・子どもクラブ ・土に親しむ会 ・キッチンYY、おやつ ・すずらん教室 	<p>◎児童支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春休み、夏休み、冬休みを中心に学童保育を実施した。午前9時～午後2時まで児童を1階共有スペースで保育し、学習支援や各種行事を通して、協力することや対人関係を学ぶ場を提供した。また、午後2時～午後6時までは見守り保育を行い、児童の安全確保と信頼関係構築に繋がった。 ・コミュニケーションスキルを身に付ける為に、セカンドステップも年間通して行った。 ・少年指導員による食堂を開き、子ども達はお客さんとして麺類を提供し子ども達の孤食を防ぎ、母親の負担軽減にも努めた。年3回実施した。 ・県の補助金“体験の風をおこそう”を利用して、大山登山に挑戦した。往復7時間の登山経験は子どもたちの“出来る”という自信にも繋がった。 ・他の児童養護施設の職員及び利用者とサツマイモの栽培を通して交流を行った。また、収穫したサツマイモは様々な行事で提供した。 ・年度当初はこども達を対象に休日の食事提供をし、子ども達の食事確保としていたが、仕事から帰ってきた母親の家事の時間が減らし、その分子どもと関われる時間を増やしてほしいという願いから、全入所者に手作り弁当を提供した。 ・毎月1回、手作りおやつを提供した。児童も楽しみに帰ってくるようになり、おやつでお腹が満たされ児童間トラブルが減った。 ・低学年と高学年に分かれて、和み庵にて学習支援を行った。提供したドリルや宿題に取り組む姿があり学習定着に繋がった。外部講師(アルバイト)を雇い、職員は児童送迎と見守りを行った。
	<p>◎施設環境事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルインファーム ・花いっぱい運動 <p>◎地域連携密着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながるプロジェクト ・ブルーインター広報 	<p>◎施設環境事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の野菜を栽培し、入所者様へ提供を試みたが、暑さにより多くの野菜を提供することが難しかった為、行事食として調理した。 ・施設内外の環境維持に努めた。玄関周りのお花の管理を季節に応じて行った。 <p>◎地域連携密着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回、インターグループホームとの交流を行った。また、入所者だけでなく地域の方や退所者にもお知らせし、おにぎりや豚汁等の軽食を準備し施設に足を運んでもらえるようにした。また、B000の活動を通して各保育園や児童センターを尋ねたり、招いたりして施設理解や母子支援の紹介を行った。 ・県内外の措置関係機関に母子生活支援施設の理解と周知を深める為にパンフレットの郵送及び訪問を行った。
<p>4 安全管理・衛生管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時と年に2回母子の健康診断を嘱託医により実施する。 ・年に2回母子の尿検査等実施する。 ・手作りおやつや惣菜デイ等の事業のため、職員の検便を実施する。 ・職員の健康診断を年1回実施する。 ・安全点検管理分担表に基づき、各担当職員が各担当箇所の点検を実施する。 ・大型遊具の点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の業務として、管理簿に基づき、健康診断受診の徹底を図った。 ・声掛けを繰り返し、回収日までに提出してもらった。 ・調理業務に携わる職員全員を対象に毎月実施した。 ・職員の健康診断に基づき、産業医へ健康相談を行い職員へ返した。 ・安全管理分担表に基づき、点検を実施した。 ・月に2回点検を実施した。年に1回の遊具安全点検も月に実施した。また、遊具点検を行った際に、指摘のあった箇所の修繕を行った。
<p>5 防災・火災、救助体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の定期点検 ・隣接する施設との合同緊急避難訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月と2月に消防用設備等(特殊消防用設備等)点検を実施した。内1回を消防署へ提出。 ・役割分担の確認を行う中で、ブルーインターは自施設の役割以外には、他施設から避難された方の見守りを行った。

	<ul style="list-style-type: none"> 施設の避難訓練は月1回の実施を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練は消火訓練も含め、毎月実施した。不審者対応の訓練の際には、実際に避難放送を流して警報ボタンを押し警備会社と連携した訓練を行った。消防署にも指導を受けながら避難訓練も実施したが、母親の参加する家庭と参加しない家庭が顕著となった。
<p>6 職員の資質の向上と研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への積極的参加 法人内部研修への参加 施設内のOJT・職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県外・県内問わず、必要に応じ施設長を含む職員を積極的に派遣した。 経理研修・労務管理研修・階層別研修等全て参加した。 資料有り、無しのケース検討会を月に一回ずつ実施し、支援について職員全員で実践に繋がるプランを作成した。 児入協施設訪問研修に職員が1名参加し、児童養護施設で1泊2日の研修を行った。 母子支援員会議、子担当会議に臨床心理士と基幹的職員が同席することでスーパーバイズできる体制を整え、毎週1回の会議を行い、それぞれの支援経過及び今後の支援方法を検討した。 4名が国家資格等を目指して勉強中。
<p>7 各種団体との連携と地域交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得の取り組みを行う。 法人行事、施設行事を通じて積極的に地域と交流 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の里祭り、秋の文化祭に参加。施設行事には、インターグループホームと年4回の交流会を設けた。 地域の母子家庭へのアプローチの一環として、倉吉市母子寡婦福祉連合会に参加した。 DVネットワーク会議に参加し、警察等も交えて事例の検討を行ったり制度の理解を深めた。児童相談所と病院と施設等でも要保護児童対策地域協議会で連携することが出来た。 公益財団法人鳥取県文化振興財団による倉吉未来中心ミニコンサートをブルーインターで開催し、地域の方も来場された。 保育園・各学校行事へ参加した。 月1回法テラスの弁護士に来て頂き、入所者、退所者の法律相談を実施した。 市役所、児童相談所、地域連携室等とも協議する機会を多く持てた。 保育園・各学校と定期的に情報交換を行った。 学童保育の行事の一環として、子ども達と近隣施設の清掃をしたり、法人内の地域福祉相談支援事業推進室による将棋大会に参加したりした。

季節・年間行事

施設名：母子生活支援施設ブルーインター

実施月	行事計画	行事实績
平成30年 4月	【母親支援事業】【母子支援事業】【児童支援事業】【施設環境事業】の実施…年間通して随時実施 母との会・総会及び創立記念を祝う会・春休み学童保育・昼食提供	各事業の実施【あったまろうDAY・惣菜DAY・リフレッシュ保育・学童保育・セカンドステップ・すずらん教室・おやつ提供・プルインファーム・花いっぱい運動】焼肉パーティ(4日)、花見遠足(6日)、総会及び創立記念を祝う会(8日)、5月子どもクラブ(30日)
5月	各種事業の実施、子どもクラブ、土に親しむ会、リフレッシュ保育	各種事業の実施、土に親しむ会(12日)、インターGH交流会(21日)BOOOミニコンサート(24日)、おにぎり屋(26日)、リフレッシュ保育
6月	各種事業の実施、子どもクラブ、BOOOミニコンサート、リフレッシュ保育	各種事業の実施、母との会(1日)、6月子どもクラブ(2日)、土に親しむ会草取り大会(23日)、BOOOミニコンサート(27日)
7月	各種事業の実施、子どもクラブ、インターGHとの交流行事、夏休み学童保育	各種事業の実施、夕涼み会(7日)、7月子どもクラブ(14日)、昼食提供(毎週火、木)
8月	各種事業の実施、盆前大掃除、母との会、子どもクラブ、夏休み学童保育(遠足等)、福祉の里夏まつり、ドラゴンカー大会	各種事業の実施、盆前大掃除(5日)、未来中心プール(3日)、さじアストロパーク遠足(17日)、ドラゴンカー大会(19日)スターガーデン交流会(20日)、おやつ作り(22日)、映画館に行こう(24日)、昼食提供(毎週火・木)、母との会
9月	各種事業の実施、備品点検、前期自立支援面談、親子遠足	各種事業の実施、秋の遠足(16日)、おにぎり屋(29日)、前期自立支援面談、備品点検
10月	各種事業の実施、母との会、子どもクラブ、大山登山	各種事業の実施、10月子どもクラブ(6日)、こどもクラブ大山登山(13~14日)、母との会
11月	各種事業の実施、土に親しむ会、子どもクラブ、繋がるプロジェクト(おにぎり屋)、福祉の里文化祭	各種事業の実施、土に親しむ会(4日)、福祉の里文化祭・おにぎり屋(10日)
12月	各種事業の実施、クリスマス会、餅つき大会、年末大掃除、冬休み学童保育、母との会	各種事業の実施、クリスマス会(2日)、年末大掃除(9日)、嘔吐物処理方法施設内研修会(18日)、年賀状づくり(26日)、もちつき(27日)、年末遠足(28日)、母との会
平成31年 1月	各種事業の実施	各種事業の実施、ポップコーンづくり(4日)、ダンボールハウス(7日)、麺や大地(19日)
2月	各種事業の実施、母との会、子どもクラブ、備品点検、後期自立支援面談	各種事業の実施、備品点検、後期自立支援面談、2月子どもクラブ(2日)、母との会
3月	各種事業の実施、子どもクラブ、不審者対応訓練、インターGH交流会、春休み学童保育	各種事業の実施、3月子どもクラブ(2日)、卒業を祝う会(22日)、不審者対応訓練(25日)、インターGH交流会(26日)、白壁土蔵群探索(29日)